

2013年9月14日岐阜県岐阜市  
第6回岐阜県民スポーツ大会  
オリエンテーリング大会

## 第6回目の県民スポーツ大会

県民スポーツ大会は、平成19年から岐阜県のスポーツ・レクリエーション関係の種目を同じ時期に開催する大会として始まり、平成24年の岐阜国体までに岐阜県内を5つのブロックに分け、順次開催してきたものです。今年は、国体も終わり、2順目の地区として岐阜地区において開催されました。



## 岐阜ファミリーパーク

今回のトレインとなる岐阜ファミリーパークは、岐阜市の北東部にあり、野球場やサッカーコート、テニスコートなどのスポーツ施設のほかに、子ども向けの遊具やキャンプ場などもある58.6ヘクタールの面積を有する総合公園です。公園の中には、会場とした岐阜市少年自然の家があり、青少年を中心としたスポーツ団体の活動や学校などでの野外活動を体験する施設となっています。

野外活動施設ということで、昭和63年の開設時からパーマメントコースが設定され、また、施設独自の幾つかのハイキングコースも整備されています。パーマメントコースの地図は、開設時からのもので利用してきたため、平成24年にリメイクし、今回はさらに公園施設を中心としたエリアをトレインとした地図調査を行い地図作成しました。



## 幅広い参加層！

県民スポーツ大会でのオリエンテーリングは、広く県民を対象としており、初心者から経験者までが一緒に参加できるものとして従来から1時間のスコアを行ってきています。各地区で行ってきているということで、幅広い年齢層の方やなかなか普通オリエンテーリングを行っていない地区の方にオリエンテーリングに参加してもらえるのです。

今回の参加者も幼稚園児からシニアの方まで参加していただいただけでなく、JWOCに出場した岐阜市出身の近藤康満君も参加してくれて、参加者数は、43人と少なかったものの、幅広い参加者層になりました。また、親子連れの参加者の中には、過去、岐阜県協会が主管・開催してきた講座や体験会、また、前年度の国体のデモンストレーションとしてのスポーツとしてのオリエンテーリング大会に参加して頂いた方々もいました。



## スコアでの大会

トレインは、公園と言っても、幾つかの尾根が張り出した小高いところがいくつかあり、その上り下りは、結構ハードなものとなりましたが、コントロール位置は、初心者から経験者までが同一コースを利用することもあり、ほぼ道沿いのものとなり、経験者にとっては物足りなさはあるもののスプリント的なイメージであったのではないかと思います。



## フィニッシュ！

スタートから制限時間の1時間前には、トップに近藤君がフィニッシュし、各参加者も時間超過を心配してほとんどが制限時間内に帰還しました。フィニッシュ後は、トップランナーとして近藤君にルート図を大きな地図に書き込んでもらい、初心者の方にもルートを説明し大変好評でした。また、初心者子どもたちにも自分たちが選んだルートを説明してもらい皆さんからアドバイスを頂き、大変参考になったのではないかと思います。



## 幅広い年齢層の参加者が！

前述したように以前、県協会が関わった行事に参加してくれた子どもたちは、前向きにルート説明に参加してくれ、身を乗り出すように話を聞いてくれていたのは印象的でした。

そんな中の一人の女の子は、小学校の中学年でありながら、お母さんに頼み込み一人での参加を申し込んできましたが、運営側としては心配な面もありスタッフをつけ、本人の意思を損なわないように走ってもらいましたが、何の問題もなく、楽しそうに戻ってきました。

大会後、その女の子にオリエンタリングマガジンやアジア選手権の際の地図などを送り、大会案内などもしたところ、お母さんからメールを頂きました。

女の子は、帰ってからお父さんにオリエンタリングの事を楽しそうに話してくれて、送った資料なども家族でワクワクしながらご覧になったとのことでした。また、次の月の愛知の大会に出られることになりましたが、残念ながら、初めての山の中で、相当、迷われたようで、完走は出来なかったようです。

関係者の皆さんからは、このことにくじけず、次に向かってくれることを期待し、励ましのメールが送られました。是非、どこかのトレインで会えることを楽しみにし、彼女が女子選手として活躍してくれ、また、このような大会を通じて競技者の発掘や育成ができればと思っています。



## 後日談から始まります！

後日談ですが、女の子が帰宅後、愛知であったことを語ろうとしないことをお母さんは心配されたようですが、お風呂の時間、二人きりになったとたん、いろいろ話をしてくれたことをメールで頂きましたのでご紹介します。

最初からいきなり道に迷ったこと。

迷っていたら、1人の大学のお姉さんが声をかけてきてくれたこと。同じく道に迷っていた2人のお姉さんと合計4人で「チーム迷子」を組んだこと。自分がオリエンタリングを初めたきっかけ。お姉さんが上手そうな人に声をかけ、現在地を教えてもらって何とか帰って来られたこと。…等々。

「そんなことがあってさあ〜。  
楽しかったよ♪」

私はこわごわ、「またやりたい？」って聞いてみました。そしたら、「もちろん、やりたい!!」と。安心しました。

地図を見せてもらったら、本格的なオリエンタリングでびっくり！今まで彼女が経験したオリエンタリングとは全く違うものでした。

ちょっぴり遭難した感じが面白かった、と彼女は言っていました。一歩間違えれば大変危険なことです。次回の大会までにはちゃんと基礎的なことを教えてあげなければいけないなあと思いました。

大会関係者の方には大変心配をおかけし、申し訳ありませんでした。

娘は全然懲りていません。娘から私に「牧ヶ野さんにちゃんと『懲りてない』って伝えといてよ」と、頼まれましたのでお伝えします(笑)。

帰宅後、地図を読み返し、理想のルートを記入しながらコメントをしているのを見て、こういう人が上手になるんだなあ…と思いました。猪突猛進の私よりもずっと上手になると思います(←親バカ(笑))。機会があれば、また参加したいと思います。

また、いろいろお世話になるかと思いますが、よろしくお願いします。

## 新たな出会い、これからも！

岐阜県オリエンタリング協会は、オリエンタリングの普及活動を始めて40年。これからも彼女のような方に出会えるよう活動を続けていけたらと思います。

(牧ヶ野敏明)

